

令和4年度旭区区政会議 第1回活力・安全部会（R4.11.29開催）におけるご意見並びに対応等について

番号	項目	ご意見等	対応（方針・状況）等	担当
議題等関連				
1	将来ビジョン Ⅳ 安全に暮らせるまち 1 防災体制の充実	災害時の要支援者に関することについては、これまでの名簿の見直しを行っているが、現実に住所地に住んでいない方への支援など課題がある中で、要支援者の情報の共有に制限があり、何か良い方法はないものかと考えている。	今の要支援者名簿に支援者名を掲載するのはハードルが高いと認識しており、班というある程度大きな組織において要支援者を把握してもらうことが非常に重要で、見守りとしての取組も進めてもらいたいと思っています。今後名簿を更新する段階で、どのような取組にしていくかの検討を地域とともに進めていきたいと思っています。（会議にて回答済み）	防災安全課
2	将来ビジョン Ⅳ 安全に暮らせるまち 1 防災体制の充実	災害時の要支援者名簿の整備について、まずは把握しましょうというのは分かるが、将来どうなるかを示してもらった方が、もっと皆が動きやすいのではないかと思います。	確かにまずはスタートを切らせてほしいということで説明していますが、将来的には個々の避難行動に結びつけることを目標に置いており、今後名簿を更新する際に、将来あるべき姿を鋭意説明していきたいと考えています。（会議にて回答済み）	防災安全課
3	将来ビジョン Ⅳ 安全に暮らせるまち 1 防災体制の充実	自助・共助によるまちづくりとしているが、配偶者が亡くなって一人で暮らしている方や町会に入っていないマンションに住む若い人が増え、今後5年での自助・共助は難しいと思うので、むしろ公助をもっとやっていく必要があるのではないかと。	阪神・淡路大震災や東日本大震災では、自助・共助により助けられた方の割合が97%を占め、公助には限界があるという数字も出ていますが、区役所はやらないとか予算がないからとかいうことではなく、災害の発生時間によっては職員が参集できない事態もありますので、災害発生直後については、できるだけ自助・共助により速やかに避難等できるよう関係をつくってもらいたいということで記載しています。（会議にて回答済み）	防災安全課

番号	項目	ご意見等	対応（方針・状況）等	担当
4	将来ビジョン Ⅳ 安全に暮らせるまち 1 防災体制の充実	災害時の要支援者への支援にかかる調査が町会にきており、そこでは要支援者は障がいのある方のみとなっているが、実際には高齢等により支援が必要な方も多数いる。いざという時に支援を必要とする方は、障がい者手帳を持っている方だけではなく、地域で互いに助け合い精神を持つためにも老人会が必要と考える。老人会がすでにつぶれている町会もあるが、次の5年でさらにつぶれていかないように老人会を町会の下部組織として一体化していくのはどうか。近所同士が助け合うには、もっとネットワークが必要で、町会の活動を活発化させないといけない。若い人や青年団みたいな繋がりを重視した方法で考えないといけない。 老人会の存続に関わって、補助金の存在も聞いているが、その補助金を出すにはどうするのかなど、そういうものをもっといろいろと考えた方が良いと思う。	要支援者の名簿に記載のある方は、社会福祉協議会の平時の見守り名簿に記載のある方で、災害時に名簿情報を使用することについて同意を得ている方となっています。については、障がいのある方だけの名簿ではありませんが、記載のない方で気になった方の情報をいただければ、社会福祉協議会と連携し、同意をいただけるよう働きかけていきたいと考えており、徐々に高齢等で支援が必要な方も増えていくよう取り組んでいきたいと考えています。 今回の調査については、地域振興会や民生委員児童委員の方々にお願いしていますが、それ以外にも地域では、いろいろなアプローチや角度から活動をされている方々がおられるので、地域の皆さまで取り組んでいけるような仕組みにしていければと思っています。（会議にて回答済み）	防災安全課
			（福祉課） 旭区としても年々老人クラブの数が減少している実情については承知しており、一方で各地域の老人クラブの重要性を充分認識しております。 老人クラブのあり方や運営方法、町会との連携などにつきまして、各地域でのご議論に委ねさせていただくところですが、区老連事務局のサポートにつきましては、事務局と連携しつつ必要に応じて取り組んでまいりたいと考えます。 なお、補助金にかかる制度としましては、本市福祉局が所管する「大阪市老人クラブ育成補助金」があります。 （地域課） 各地域には、地域団体やNP0、企業など地域のまちづくりに関するいろいろな団体が集まり、話し合い、協力しながら、さまざまな分野における地域課題の解決やまちづくりに取り組んでいく「地域活動協議会」があります。区役所から各地域活動協議会に対して補助金を支出しておりますが、補助金については地域全体へのものがございますので、老人会やその活動をどうするかは各地域において十分に話し合われることが肝要かと思われます。	福祉課 地域課

番号	項目	ご意見等	対応（方針・状況）等	担当
5	将来ビジョン Ⅳ 安全に暮らせるまち 2 防犯啓発の取組	町内京阪電車の高架下の一方通行のトンネルでは反対側から自転車で走ってくる人が多いが、ここを含む旭区では細くて一方通行の道が多いため、交通安全対策として自転車のマナーに特化した対策を行ってもらえたらと思う。	旭警察署、関係諸団体と連携し、自転車のマナー啓発に特化した取組や講習会など実施したいと考えています。	防災安全課
6	将来ビジョン Ⅳ 安全に暮らせるまち 2 防犯啓発の取組	商店街の防犯カメラの入れ替えや地域の常夜灯、防犯ビデオの設置など、それぞれ独自で経費を賄っているが、区役所は個数や経費への補助がどの程度あるか把握しているか。 ビジョンでは、区民を守るために5年間で防犯カメラを増やし何台にするとか、補助金をいくら出すというようにするのはどうか。	公的には100台近く、警察と相談しながら設置しています。防犯カメラは順次点検しており、旧式カメラから最新のものへの取り換えは予算の兼ね合いもあり、なかなか進まないところもありますが、故障については順番に対応しています。 今設置している台数を増やすことは予算的に非常に厳しく、必要な範囲をカバーできるカメラの設置を考えながら進めていく必要があると考えています。（会議にて回答済み）	防災安全課
7	将来ビジョン	将来ビジョンに関する説明については納得したし、楽しみにしている。今は時代の流れが非常に速いので、5年の間に大きな変化があった場合には、随時上手く対応するようにすれば良いと思う。	将来ビジョンは5年後の姿という将来像を掲げていますが、単年度の取組は、毎年度運営方針をつくりながら、その内容はその時に合ったもので実施していきます。また、ビジョンについても大きな変化があれば検討したいと考えています。（会議にて回答済み）	企画課
その他				
8		旭区の魅力の一つに城北公園がある。そこに区民が集い、他区からも来てもらえる旭区の看板となるよう、公園を活性化させたい。 提案の一つとしては、幼児や子どもが遊ぶための遊具や高齢者が集まって話ができる屋根等が付いたベンチ等の設置である。現状のイベントだけでなく、区内外から人々が集うよう活性化させることが旭区のPRとなる。 いろいろな難しい問題点があり、旭区だけではできないが、区政会議委員が区民の意見を代表し、城北公園の活性化のために遊具の設置など様々な予算を使って活かしてほしいと市に投げかけてやってもらえたら非常に良い。 委員の意見の集約により城北公園の活性化に力を入れてほしいと思っている。	公園を所管している建設局が、大阪市全体の中で公園のさまざまな位置付けを整理し、順序付けを行いながら関係施策を実施していますが、区長は区内における局の事務事業を総理するシティマネージャーとして、当該局へ意見を述べるすることができます。意見がすべて実現するとは限りませんが、このような区と局の連携に際して、区役所だけでなく区政会議でのご意見をまとめ、当該局に示すことが非常に大切だと考えています。（会議にて回答済み）	まち魅力課 企画課

番号	項目	ご意見等	対応（方針・状況）等	担当
9		スケートボードを使用する学生が多くなり、お年寄りにぶつかるなど一般市民がけがをしないよう、スケートボードのできる場所をつくって活動場所を分けることも解決策の一つと考える。	大阪市内では、長居公園に24時間滑走可能なスケートボードの練習場ができています。市内に設置する場合は、担当局との施策になっていくと考えています。（会議にて回答済み）	企画課